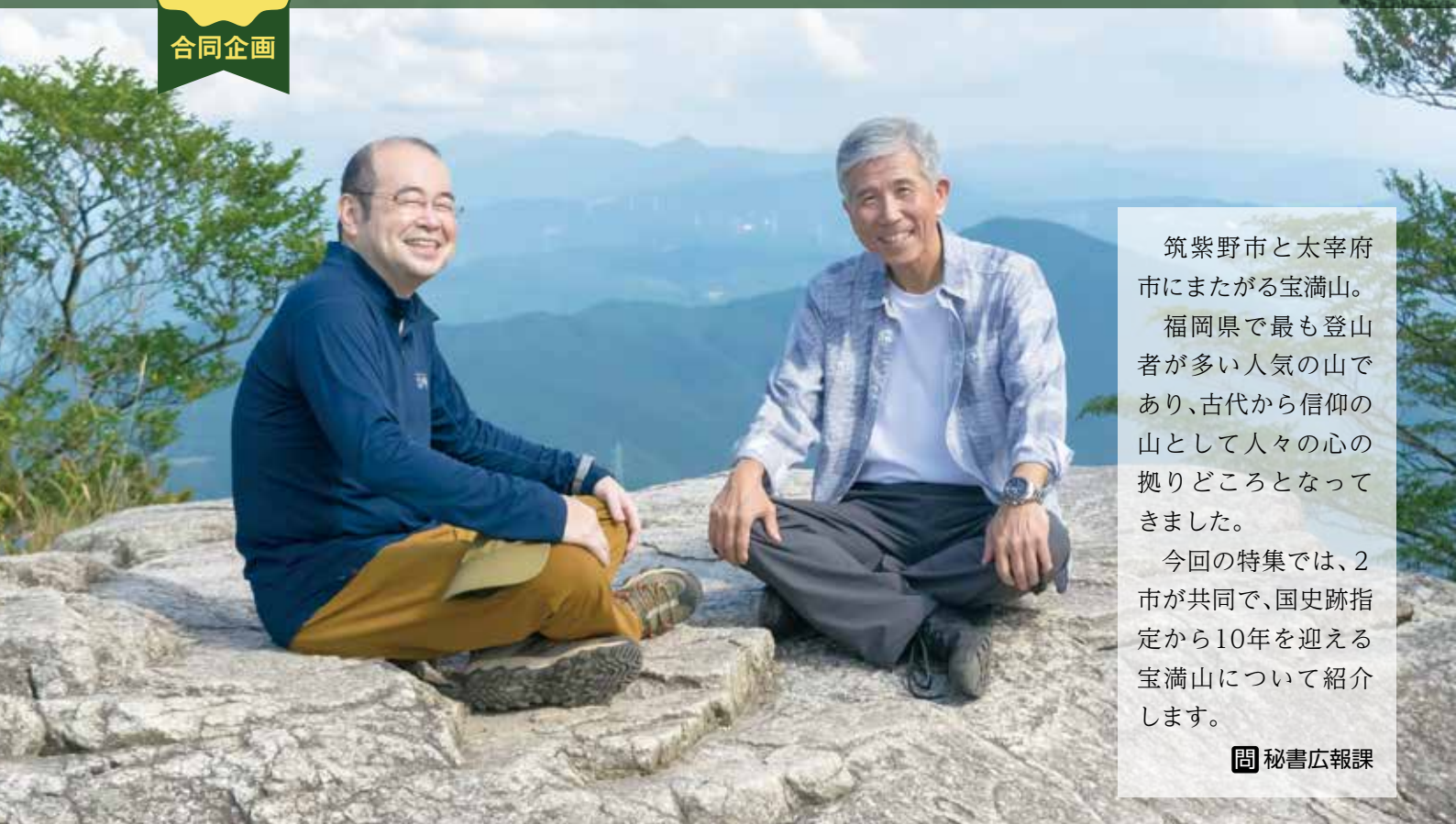


わたしたちの宝満山



筑紫野市と太宰府市にまたがる宝満山。

福岡県で最も登山者が多い人気の山であり、古代から信仰の山として人々の心の拠りどころとなってきました。

今回の特集では、2市が共同で、国史跡指定から10年を迎える宝満山について紹介します。

問 秘書広報課

市長山頂対談

筑紫野市長 平井一三
太宰府市長 楠田大蔵

の貴重な歴史や文化を多くの人と共有していきたいですね。

平井市長（以下「平」）：私は妻と結婚前に登って以来、約40年ぶりの登山でしたが、さすが修験の山、きつかったですね。

楠田市長（以下「楠」）：二日市小学校の遠足で登ってきつかった思い出がありますが、大人になってもきつかった。あらためて、山頂をめざすヒキガエルのすごさを感じます。

平・本当ですね。実際に登ると、宝満山が長い時間をかけていろいろな手で守られてきたことがわかります。

楠・両市で協力して策定した「史跡宝満山保存活用計画」に基づき、この山



中宮跡



百段ガンギ

楠・観光や駅周辺の活性化にもつながる可能性がありますね。

平・今回の企画にあたって、あらためて宝満山について学び、両市の取り組みを振り返り、その上で楠田市長と一緒に登ることで「わたしたちの宝満山」という想いを強くしました。

楠・両市の市長と一緒に山頂に立つなんて初めてのことだと思えますよ。こうしていると、いろんな連携が実現可能な気がします。相乗効果で全国にとどろく両市にしていきたいでしょう。



宝満山の麓 御笠地域の代表

やひろ ゆうじ
八尋 雄二さん

筑紫野市農業委員、社会教育委員。御笠まちづくり協議会会長、筑紫野市コミュニティ連絡会会長として、地域コミュニティによるまちづくりに取り組む。

宝満山の恵みある地域で

子どもの頃、父と山芋掘りをして
いると、土器の破片らしきものが出
てきました。学校の先生に尋ねたこ
ころ、古代のものではないかとのこ
と。そんな昔からこの地域には人が
住んでいたのかと驚きました。

先生からは、宝満山が地域の豊か
な自然の源であり、また、古くから靈
山として扱われていることを教わり
ました。宝満山から流れ出るきれい
な水は、田んぼの美味しいお米にも
つながっている。自分だけでなく子
どもの代までも、宝満山の恵みあふ
れるこの地域で生活していきたい
と、幼心に思ったものです。

ご先祖様の時代から、御笠地域に

住む人たちは同じ思いで山を見上げ
てきたのではないのでしょうか。だか
らこそ、宝満山に関わる地域のお祭
りなどが今に続いているのではない
か、と感じます。

御笠地域では、講演会や登山ルート
整備、案内看板の設置、散策マップづ
くり、小学生の遠足の引率や神社のお
祭りなど、太宰府市の皆さんとも連携
しながら宝満山を守り育てる活動に
取り組んできました。

国史跡指定10年という節目を契機
として、市の枠組みを超えて地域の
連携を強め、より多くの人が宝満山
に関心を持つきっかけをつくりたい
と思っています。

ぜひ、一度宝満山に登って、その偉
大さを体感してもらえれば、最高の
喜びですね。

インタビュー 宝満山と私

さまざまな縁に支えられ

確実な文献史料によると、803
年に最澄(さいちょう)が入唐の渡海
祈願のため龍門山寺で薬師仏を彫っ
たことが龍門山の初見となります。
龍門山とは宝満山の古い呼び方の一
つです。

また、考古資料としては、山頂や龍
門岩などから古代の祭祀土器などが
見つかっています。土器には中華思
想において西側の外国を示す「蕃(ば
ん)」の文字が書かれており、国家的
な祭祀が行われていたことがうかが
えます。

地方の山として珍しいことですが、
古代にまで遡ることができる一級

資料が充実していることが研究者か
ら見た魅力の一つですね。

筑紫野で生まれ、太宰府天満宮文
化研究所に勤めることとなった私の
最初の仕事は、宝満山の歴史を解明
すべく資料集めをすることでした。

結婚や出産を機に研究を辞めよう
と思ったこともあったのですが、太
宰府天満宮司の西高辻信貞さんなど
多くの方から励まされ続け、今に至
ります。

宝満山は縁結びの神様ともいわれ
ますが、さまざまな人との縁がつ
ながって、半世紀余りも研究を続け
られてきたことを考えると、不思議
な気持ちになりますね。



宝満山研究の第一人者

もり ひろ こ
森 弘子さん

専門は宗教史、民俗学、文化財学。博士(人間環境学)。文部科学大臣表彰地域文化功
労者。福岡県・筑紫野市の各文化財保護
審議会の会長、太宰府市景観・市民遺産会
議議長など県内市町の委員を歴任。

宝満山、 国史跡指定から10年

— これからも守り、伝えたい —



宝満山1350年の 歴史

伝承によると、宝満山での祭祀の始まりは664年のこと。山頂に八百万神を祭ったとされています。その後も役小角や最澄、高橋紹運や豊臣秀吉など、歴史に名高い人物たちとの関わりの中で、宝満山は数多くの文献史料に登場しています。

山中には神社と寺院とが共存し、中世から近世にかけては修験道の隆盛へとつながっていきます。古代から近世にかけての信仰に関する遺構が良好に保存されており、わが国を代表する山岳信仰の遺跡です。



▲明和4(1767)年の山伏の峯入りの様子を描いた『紙本著色宝満山入峯絵巻』(市指定有形文化財)の一場面

宝満山、 国史跡指定から10年

筑紫野市では太宰府市と共に宝満山の国史跡指定に向けて取り組み、平成25年10月17日付で国史跡として指定されました。

史跡とは、貝塚、集落跡、城跡、古墳などの遺跡のうち歴史・学術上価値の高いものとして、国や自治体によって指定されるものです。

令和2年3月には、筑紫野市・太宰府市共同で「史跡宝満山保存活用計画」を策定。積み重ねてきた人々の想いと共に、悠久の時を経た宝満山を次の世代に継承していくよう、史跡の保存と活用の取り組みを進めようとしています。

筑紫野市のどこからでも見ることができ、豊かな自然と歴史を感じられる美しい宝満山。国史跡指定10年を記念し、筑紫野市・太宰府市や地域において、さまざまなイベントを開催します。

登山で、あるいはさまざまなイベントで、その魅力に触れてみてはいかがでしょうか。



市内本道寺から見た宝満山(右)。見る角度や季節によって、その姿は大きく変わります。





宝満山関連イベント

宝満山史跡指定10年を記念して、さまざまなイベントが開催されます。

イベント内容	日時	場所	申し込み・問い合わせ など
筑紫野市講演会「祈りの山 宝満山」 講師／森 弘子さん (福岡県文化財保護審議会会長)	10月14日(土) 13時30分～ 15時30分	筑紫野市 生涯学習センター 3階視聴覚室	電話・窓口 10月4日(水)9時～ 定 先着100人 問 筑紫野市歴史博物館 ☎ (922) 1911
御笠まちづくり協議会 特別講演会 「宝満山、竈門神社、大宰府の歴史」 講師／西高辻 信宏さん(太宰府天満宮宮司)	10月15日(日) 14時～16時	筑紫野市 御笠コミュニティ センター	定 当日先着120人 問 御笠まちづくり協議会 ☎ (408) 6026
宝満山史跡指定10周年記念イベント ①記念講座 「未来へつなぐ宝満山の魅力再発見!」 講師／森 弘子さん(福岡県文化財保護審議会会長) 山村 信榮、高橋 学(太宰府市文化財課職員) ②3D体験 「みてみよう、さわってみよう、 太宰府市の文化財」	10月29日(日) ①10時～正午 ②13時30分～ 16時	太宰府市 文化ふれあい館	●申込方法 ①不要 ②往復ハガキ・ホームページ 9月下旬～10月17日(火) 定 ①当日先着100人 ②先着20人(3Dプリンター 出力品色塗り体験のみ) 問 太宰府市文化ふれあい館 ☎ (928) 0800
ロビー展 「宝満山から英彦山へ ～山伏が歩いた修行の道～」	～10月29日(日) 9時～16時30分	筑紫野市 歴史博物館	問 筑紫野市歴史博物館 ☎ (922) 1911
まるごと太宰府歴史展2023 「宝満山史跡指定10周年記念」特設コーナー	～11月3日(金・祝)	太宰府市 文化ふれあい館	問 太宰府市文化ふれあい館 ☎ (928) 0800
企画展「Full of Treasure Mountain」 宝満つる山、祈り満つる山	～12月3日(日) 9時～16時30分 (入館は16時まで)	太宰府天満宮 宝物殿	観覧料あり 10月9日を除く月曜休館 問 太宰府天満宮 ☎ (922) 8225